

① 実態把握シート

B 班

学校の課題

学習の実態は

書く、話す

最後に書く

学び合ひ学習

グループ学習のやり方

全員、思考を深めたい

話し合ひは好き、学び合ひ

教師主導

全員で学習を進めたいけれど

分類、整理し、関係づける力

計算力が低い

1人1人の感覚が弱い (数学的思考のきき)

物語文の読みとり

比較し、特徴をこぼす。(279話)

数学的な考え方

図書館の資料活用

学んだことを実生活におきかえて考えられない

全問正解が(単B)でない

考えたことを記述する△算

書く力が弱い

書く力が弱い

国語や理科のまとめは

国語 自分の考えを△書く話

発言も半分のはずは好き

考えの発言の機会

説明能力 記憶が弱い

比較して自分の考えを表現する

自分の考えを明確にして表現する

わけて理由を△

自分の考え

ふりかえり△

◎ 自分の考え

わけ、根拠

が書けない

↓

話せない

課題をまとめると...

★ 自分の考えをすじ道をたてて書けない

★ 自分たちで、学び合ひ学習

研究主題		自分の考えをもち 表現できる子をめざして	
研究教科		小学校: 国語・算数	中学校: 全教科
目指す子供の姿		目指す授業像	
<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ子 自分の考えをすい道とたて書ける子 友達の考えを最後環きける子 		<ul style="list-style-type: none"> 考えたいなる課題提示 書場の設定 相手意識をもった学び合い学習 	

研究の重点(柱) 2つ~3つ
 A 授業改善
 B 基礎学力の向上
 C

A: 授業改善の視点(3つ程度) (国算)
 ① こまごま授業スタンダードの 確立 (全員それでやる)
 ② 考えたいなる課題設定 → 自分の考えを 書く場
 ③ 学び合い(言葉) をすすめる 教師のわかり

※以下は、上記の重点A:「授業改善の視点」の中から1つまたは2つ選び検討してください。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

3番
 学び合い 言葉と 教師がつかって 関わる。

A: 授業改善の視点に対する教師の具体的手立て

2番 (算) 生活の中の課題. . 不十分. まちがい. かつ
 (国) 言語活動をとりいれた 単元計画. → 課題
 ~するための
 必要性
 教師の (学び)

③ 計画シート

B

班

月	内容	
4月	研究方針の 提案	目指す授業像の 共通理解
5月	研究授業 模擬授業 セットで	学力向上プラン の策定
6月		要請訪問 授業交流
7月	検証 ^① ②	学力調査 ^③ ④
8月		講師招聘 学力向上プラン の見直し
9月		
10月		授業交流
11月		先進校へ いく
12月	↓	検証 ^① ②
1月		
2月	次年度の 計画	検証 ^① ②
3月		授業交流 17-70問

学力調査の
自校採点
学力調査の
結果分析

学力調査
③

学力調査問題の
出題傾向の把握

17-70問